

平成29年度 第一回南風原町男女共同参画推進会議 意見概要

日時：平成30年2月6日（火）午後3時～5時

場所：南風原町役場 3階 庁議室

参加者：7名 ※敬称略

新垣誠、桃原一彦、山中久司、高嶺喜美子、仲村渠苗子、
大城早恵子、新垣奈々

事務局：南風原町企画財政課

議題1：第二次南風原町男女共同参画計画の進捗状況報告

■意見概要

1. 男性に向けた各種研修会において、子育て世代だけでなく高齢者までも幅広い年齢層を想定した内容にした方がいい。
2. 子育て世代は子どもに関するイベント（PTA 等）などで地域と関わる機会も出てくるが、高齢男性の地域参加促進が課題。気軽さの醸成が重要。
3. 女性活躍によって、過度な負担がかかっているか。
4. 環境は変わっても、意識が変わっていない。意識啓発が重要。
5. 住民の声（現場の状況）を聞く窓口がない。窓口周知がなされていない。
6. 意識調査、アンケートのようなものを対象を絞って行うとか。（高齢者や地域活動）
7. 一つの部署で担うのではなく、全庁的に分散して推進する体制の検討。
8. 女性委員比率50%の徹底。
9. 協働のまちづくりの促進のためには、住民の声を拾うための自治会とか団体と繋がりをもつ事業内容でなければいけない。
10. 自治会長や評議員など男性が多い。
11. 教育現場にまじゅんプランが周知されていない。町民にも。

議題 2：第二次南風原町男女共同参画計画の見直し案について

■意見概要

1. 性的マイノリティーではなく性の多様性という言葉に直した方が良い。
2. 近年の問題は SNS が絡むことが多い。だからメディアリテラシーが大事。
3. 南風原町でも JK ビジネスとか売買春の問題等があるのか。
4. 禁止ばかりの性教育ではなく、性に関して正しい知識をつける教育を。
5. 見直しの文言修正だけでなく、専門的な指導が大事では。
6. 現状を把握した計画になっているか。
7. 取り組めていない施策について、どんな施策をするのか、どう現場に降ろすかが重要では。
8. 町職員への周知も重要では。